ANDPAD

OSS開発者という働き方

Ruby Activity Report 2025

自己紹介



柴田 博志

開発本部

フェロー

Profile | **経 歴**

Rubyコミッター、Ruby, RubyGems, Bundler, Rake, ruby-build, psychなど多くのOSSのメンテナ、ruby-lang.orgの管理人として、Rubyの開発を支えるインフラを整備している。株式会社アンドパッドで採用広報を担当しながら、プログラミング言語RubyのフルタイムOSS開発者としても活動中。「全ての人がプログラミングを通して楽しく成長できる社会を作る」ために自分ができることに毎日少しずつ取り組んでいる。



OSS 開発者の日常 | よくある疑問と今日のアジェンダ

フルタイムコミッタと聞いて皆さんはこう思ったことはありませんか？

「OSS開発を仕事にするって、どうやって？」

「OSS 開発者って、普段なにしてるんだろう？」

「そもそも、仕事として成り立つの？」

今日は、そんな疑問に答えるべく、私の日常を紹介しながら、Ruby にどのように影響を与えているかをお話しします。

01

「好き」を仕事にするということ

それって Youtuber?

どうやって「仕事」として成り立たせる？

OSS開発としての Ruby の開発は、大きく2つの活動に分けられる。

Ruby という言語の進化 (表舞台)

新しい機能や未来の設計を議論、実装をする、(多分)華やかな活動。

劇的なパフォーマンス改善、新しいパラダイムの導入。

メンテナンスという見えない土台 (舞台裏)



柴田の活動領域は主にこっち

Ruby が同梱している各種ライブラリの統合とテスト実行

地道なバグ修正や、様々な環境で動き続けるための整備。

開発者が開発をするための CI や各種プラットフォームの整備、予算の確保と執行

舞台裏の仕事 | エコシステムの心臓部を守る

RubyGems/Bundler を始めとするライブラリの継続統合:

RubyGems と Bundler は皆さんが使うgemを管理する、いわばRuby世界のライフライン。

RubyGems チームと連携しながら、Ruby 本体への同梱や戦略をコーディネート

Ruby が同梱しているライブラリ(net-http や rake, rbs など) が開発版でも正常に動くことを毎日確認

自動化によるリスク管理:

上記のライブラリの統合も可能な限り自動化

リリース作業を自動化することで、人的ミスを防ぎ、メンテナのバーンアウトからエコシステムを守る。

舞台裏の仕事(2): | あらゆる場所で動かし続ける

Windowsサポートの最前線:

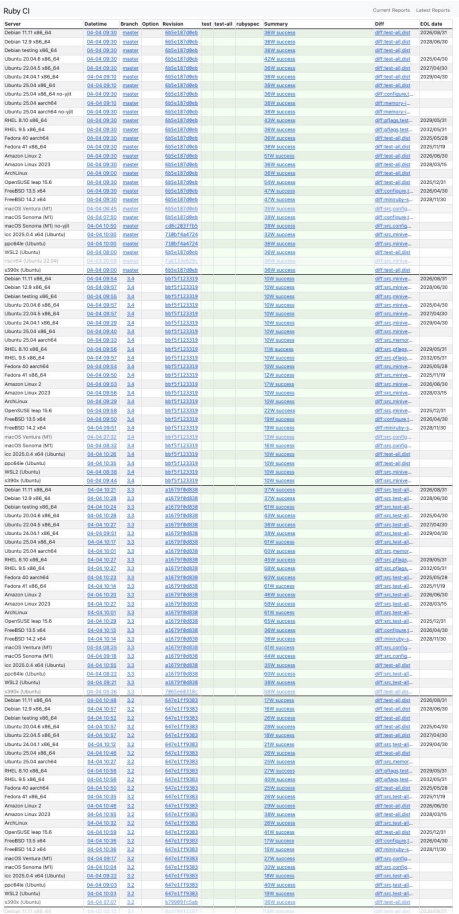
開発者の多くはMac/Linuxユーザー。それでも Windowsの利用者は世界で最もユーザー数が多い環境。

一度、壊れてしまったまま時間が経つと直すのが途端に難しくなるのでビルドとテストが通るように毎日チェック。

多様な環境での品質保証:

「私のPCでは動くのに...」をなくすため、様々な環境で自動テストを動かし続ける。rubyci を all green にしたので褒めて欲しい。

ruby-build のメンテナンスを通して、常に Ruby がビルドできる状況の維持



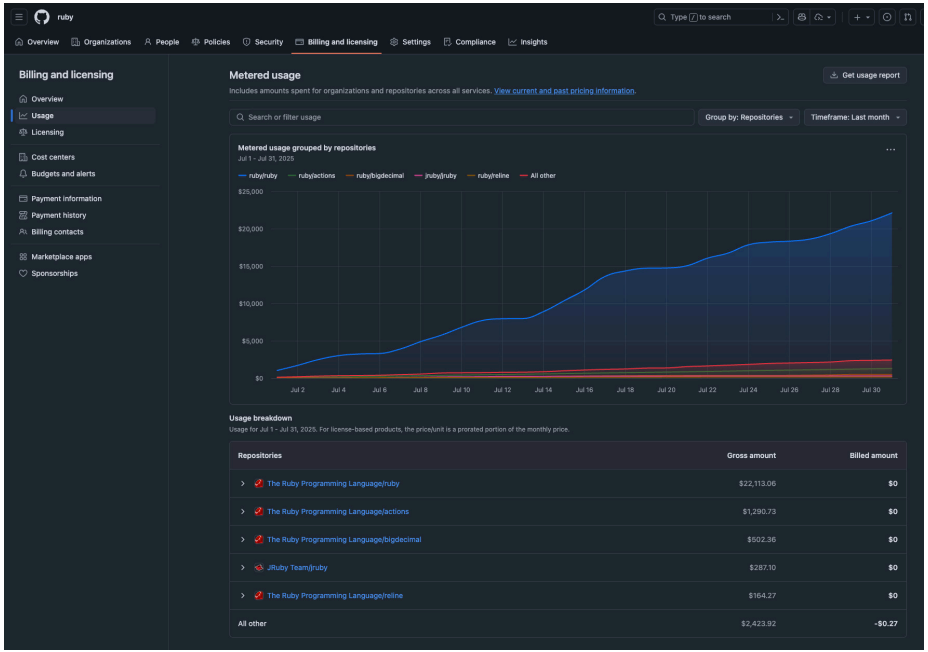
舞台裏の仕事(3)｜"当たり前"を支える見えない努力

開発プラットフォームのメンテナンス:

openssl などのライブラリや Rails などに脆弱性が見つかれば、即座に対応する。

開発環境の整備:

Ruby自体のビルドやテストの仕組みを改善し、他の開発者がもっと楽に、開発に集中できるようにする。
GitHub や Heroku など、Ruby を支援してくれるプラットフォームとの折衝



Ruby の7月の GitHub の利用料金 $25000くらい

では、誰がこの活動を支えているのか？

時間と給与を与えることで支えてくれているのはアンドパッド、一方で Ruby にフォーカスして支えてくれているのが **Ruby Association** 。

Rubyコミュニティの応援団:

カンファレンス前後に開催されるイベントの金銭的な支援や、新機能の開発グラントを通して Ruby コミッタの継続性を確保

私の役割:

Ruby Associationと協力し、開発者が集う「開発合宿」を企画・運営。

皆で集まり、開発を加速させ、新しい仲間を育てる場を作る。



02

とあるOSS開発者の1日

OSS 開発者の朝は早い

OSS 開発者の日常 | 8:00 - 10:00

収集

大体 6時に起床、ゲームのデイリー消化、朝食後にコーヒーを片手に、GitHub の通知、メーリングリスト(ruby-core)や Slack 、Feed の Ruby/OSS 関連に目を通す。タブで保存。

診断

Ruby に用意している CI(rubyci.org や GitHub Actions)を全てチェック。fail している箇所があればブラウザのタブとして開いて保存。

計画

Fail している CI の修正を最優先にし、収集した情報から自分が対応すべき内容を確認し、1日の大まかな計画を立てる。



OSS 開発者の日常 | 10:00 - 18:00

修正:

CI で落ちている箇所を調べ始める。毎日やっているので、前日に落ちていないなら1日分の修正が原因なことが多く、コミットを全部読んで原因っぽいものを直す。よくわからないものは revert して、コミットした人にメンションをする。

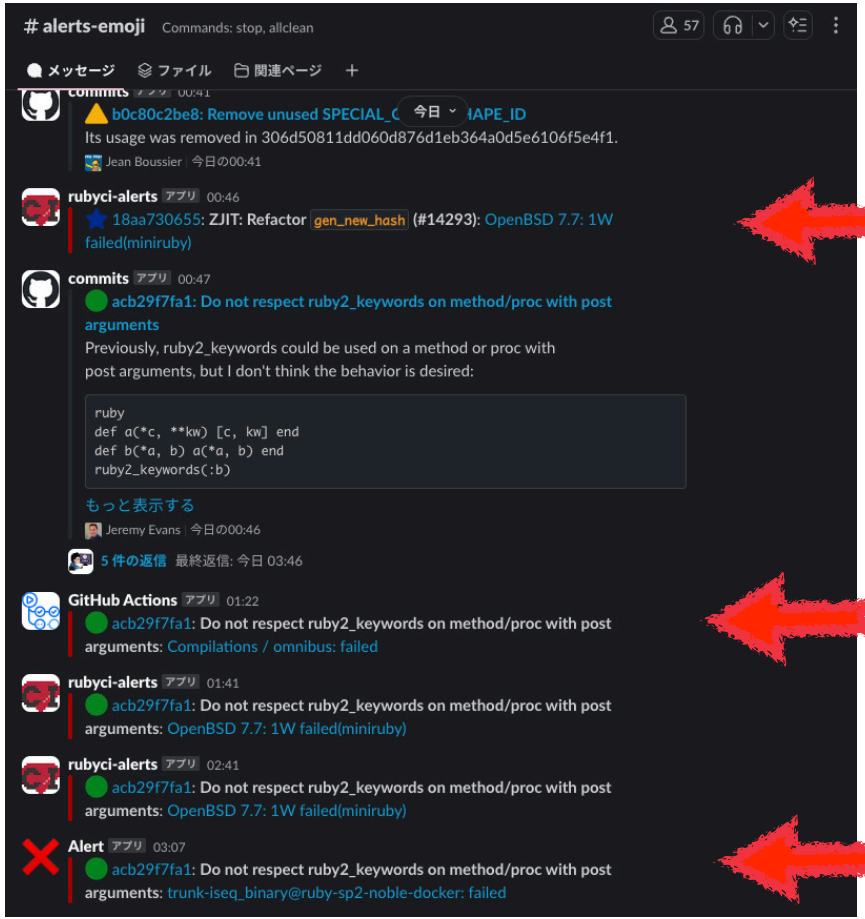
確認:

自分が保有している macOS(beta, stable) と Windows、Linux(WSL)で Ruby をビルド、テストが通ることを確認、通らない場合は bugs.ruby-lang.org に報告するか、nobu などと連携してすぐに直す。

仕込み:

最近はリリース作業の自動化と CI の高速化に力を入れているので、試行錯誤しながらいわゆる普通のプロダクト開発と同様に作業を行う。

OSS 開発者の日常 | 10:00 - 18:00



Ruby CI で落ちているが nobu が入れた変更に対応できてない奴なので毎日 nobu にどんな感じか聞き続ける

GitHub Actions で flaky なやつ、多分

笹田さんの環境で flaky なやつ、多分

OSS 開発者の日常｜ 例: net-http と Content-Type

CI や インフラの整備が中心だが、ライブラリの修正や機能追加もたまにやる。一つの修正が、世界中のRuby利用者に影響するので、常に範囲や戦略を考え続けている。

例: https://github.com/ruby/net-http/pull/207

Rubyの標準ライブラリ net-http が、Content-Type を指定しない場合にデフォルトのヘッダを付けていることで、aws-sdk の開発者が困っていた

影響範囲の調査:

RFC ではクライアント側はヘッダはつけなくても良いと定義、aws-sdk でも Content-Type ヘッダを削除するようなパッチを使っていた

結論:

開発者会議で「とりあえずやめてみましょうか」と提案し、皆の合意を得て、Rubyの次のバージョンに添付するものから未指定の場合は Content-Type を空とする事にした

OSS 開発者の日常 | 11:00 - 18:00

井戸端会議 (Ruby Office Hour):

毎週火曜午前に Matz や Ruby コミッタを中心にオンラインで集まる。

誰かに困っている話をしたりされたり、bugs.ruby-lang.org に投稿された内容についてカジュアルな感じで雑談する。

開発者会議 準備会:

毎月第二火曜午後に フルタイムコミッタを中心にオンラインで集まる。

木曜の開発者会議の前に論点を整理して、「誰が」「何を」決めるのかを洗い出しておく

開発者会議:

毎月第二木曜午後に Matz を含む Ruby コミッタがオンラインで集まる。

準備会で洗い出した論点をベースに Matz に決めてもらう。たまに脱線して議論が発散して 20時くらいまで喋っている時もある。

OSS 開発者の日常 | 13:00 - 15:00

採用広報チームの定例:

カンファレンスへのスポンサード、ブース設営や関連イベントの企画と運営、テックブログや対外的な露出について検討

採用チームの定例

採用広報の動きを踏まえた上で新卒・中途などの採用に関する戦略を検討、いわゆるリクルータ的な動きも担っている

1on1:

上長(古橋、秒速) や CEO(稲田) と組織の現状や事業の方向性、自分自身の動き方などを会話

© 2024 ANDPAD All Rights Reserved. Confidential

OSS 開発者の日常 | 13:00 - 15:00



RubyKaigi 2025 のブース企画

Ruby 3.4 リリースパーティ





Kaigi on Rails 2024
アフターイベント

© 2024 ANDPAD All Rights Reserved.
Confidential

OSS 開発者の日常 | 1日のまとめ

情報をシャットアウトする強い気持ち

朝は US、夜は EU と仕事(=OSS開発)をやめる時をはっきりさせないと無限に何かをしてしまうので休日や平日の19:00 には Slack などをシャットダウンしている

自分で自分の価値を作って売り込む

自分がやっていることが巡り巡って所属元であるアンドパッドに利益をもたらすということを常にプレゼンテーションできるようにしている

例: OSS 開発をする > テックブログなどで公開する > 反応から実際に採用活動をして採用に繋げる

03

モチベーションの波を乗り越えて

「だって仕事でしょ」

「やる気」に関係なく OSS 開発をする

趣味の開発 (情熱駆動):

「面白い！」「楽しい！」という**情熱駆動(多分)**

仕事の開発 (信念駆動):

「これは自分の責任だ」「ユーザーへの約束だ」という強い気持ちを持ってモチベーションに関係なく、目的地に向かって進み続けるようにしていく。

信念1: 地味で、でも重要な仕事をやり遂げる

脆弱性対応:

不定期に報告、または発見される脆弱性について、論点を整頓し、対応すると関係者で決めたものの CVE を取得して、修正、新しいバージョンのリリースをする。

安定版のリリース:

最新機能の開発は花形。でも、大多数のユーザーが使う安定版を守り続けることこそが、最大の信頼に繋がる(多分)

開発プロセスの改善:

Windows への vcpkg の導入、Linux/Windows の ARM 対応など、大多数の人が "使っていない" 環境で簡単に開発を開始できるようにドキュメントやツールを整備

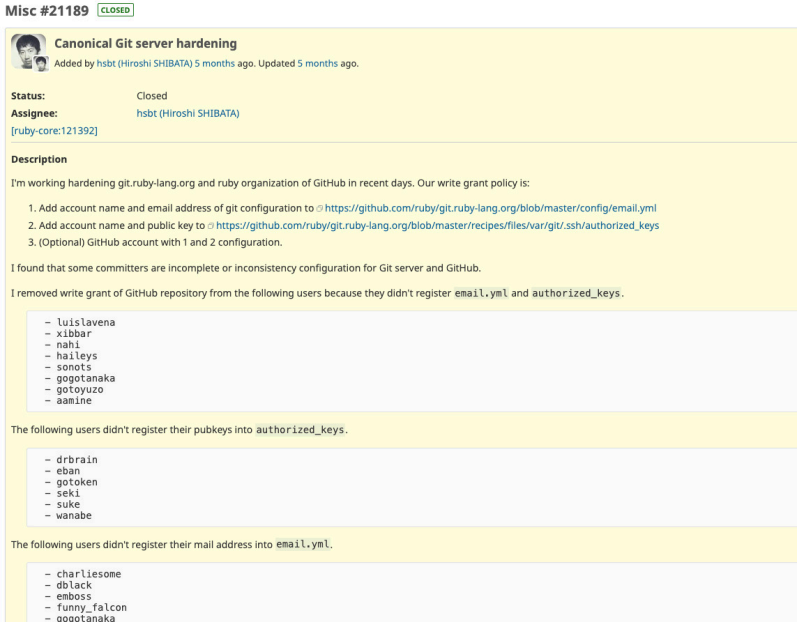
信念2: 未来の自分や仲間を助ける

面倒な作業の自動化:

「この作業、毎回面倒だな...」で終わらせない。未来の自分が楽できるように、未来の仲間が困らないように、自動化の仕組みを作る。

社内IT業務:

新しいコミッタへのアカウントセットアップなど、いわゆる社内IT的なやつも全部やる



Misc #21189 CLOSED

Canonical Git server hardening

Added by hsbt (Hiroshi SHIBATA) 5 months ago. Updated 5 months ago.

Status: Closed
Assignee: hsbt (Hiroshi SHIBATA)
[ruby-core:121392]

Description

I'm working hardening git.ruby-lang.org and ruby organization of GitHub in recent days. Our write grant policy is:

1. Add account name and email address of git configuration to https://github.com/ruby/git.ruby-lang.org/blob/master/config/email.yml
2. Add account name and public key to https://github.com/ruby/git.ruby-lang.org/blob/master/recipes/files/var/git/.ssh/authorized_keys
3. (Optional) GitHub account with 1 and 2 configuration.

I found that some committers are incomplete or inconsistency configuration for Git server and GitHub.

I removed write grant of GitHub repository from the following users because they didn't register `email.yml` and `authorized_keys`.

```
- luislavena
- xibbar
- nahi
- haileys
- sonots
- gogotanaka
- gotoyuzo
- aamine
```

The following users didn't register their pubkeys into `authorized_keys`.

```
- drbrain
- eban
- gotoken
- seki
- suke
- wanabe
```

The following users didn't register their mail address into `email.yml`.

```
- charliesome
- dblack
- emboss
- funny_falcon
- gogotanaka
```

公開鍵の登録の棚卸し

信念3: 開発の生命線を守る

Ruby CI や GitHub Actions のメンテナンス

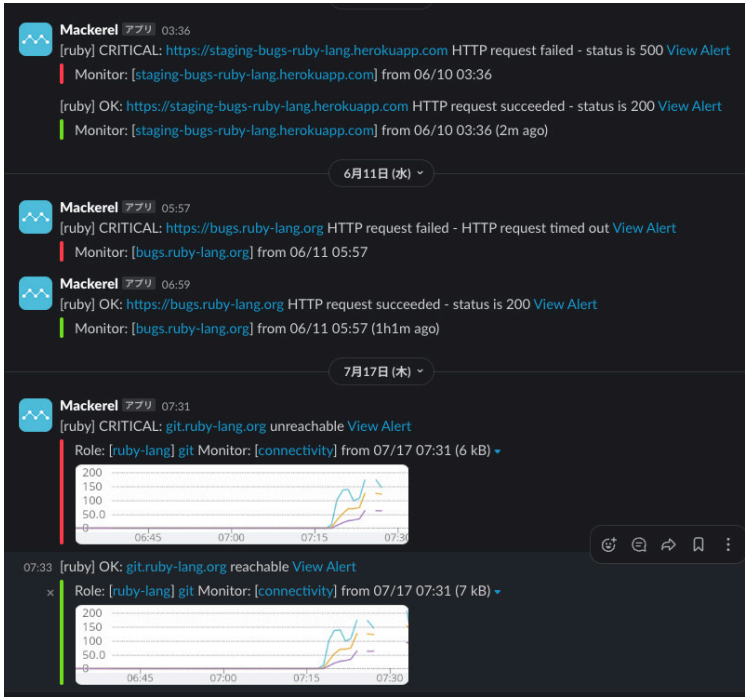
Rubyが様々な環境で正しく動くかを24時間365日チェックする。

多様な OS で構成されていて、それぞれの OS のメンテ方法についてはそれなりに詳しい。

プラットフォームの維持

Mackerel などの監視を設定し、アラートがあれば対応をする。CI の失敗は前述の通り。

新しいOSが出れば、Ruby Association と AWS のサポートを眺めながら適当な新しいテスト環境を用意する。



最近は落ち着いてきたアラート

信念4: Rubyの歴史を守り、未来へ繋ぐ

公式Issue Tracker (bugs.ruby-lang.org)

Rubyのすべてのバグ報告と機能提案が記録される場所、Ruby の歴史が失われないように、サーバーをメンテナンスし、アプリケーションを更新し続ける。

公式メーリングリストアーカイブ (blade.ruby-lang.org)

Ruby のメーリングリスト ruby-core/ruby-dev/ruby-talk/ruby-list をテキストで保管

過去の議論や決定を、いつでも誰もが参照できるようにすることが、未来のRubyの道標になる。MCP サーバーや LLM などでもう少し賢く使えるようにしたい。ロボ Matz 構想。

04

アンドパッドのご紹介

Ruby のサポーター

ANDPADとは

現場の効率化から経営改善まで一元管理できる

クラウド型建設プロジェクト管理サービス



社　内

営業 / 監督 / 設計

事務 / 管理職



ANDPAD



社　外

職人 / 業者

メーカー / 流通

案件管理　資料　工程表　写真　報告　チャット　黒板　図面　受発注　・・・

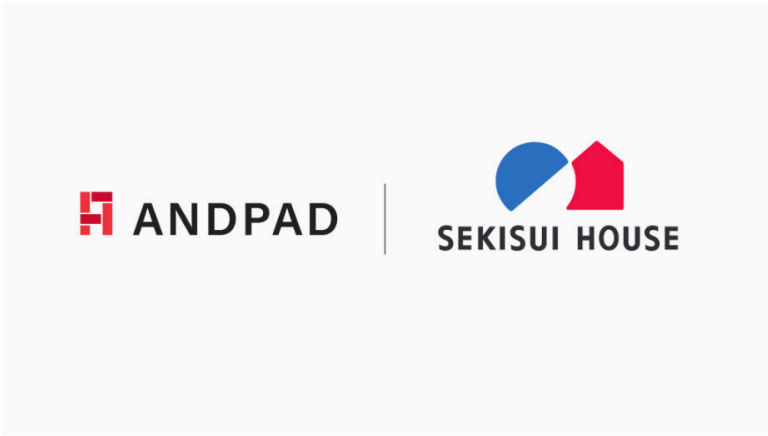
© 2025 ANDPAD All Rights Reserved. Confidential

積水ハウスグループ様への全社導入が決定

News

積水ハウスが ANDPAD を導入

2025.05.27



クラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」を運営する株式会社アンドパッド（本社：東京都千代田区、代表取締役：稲田 武夫、以下アンドパッド）は、積水ハウス株式会社（本社：大阪府大阪市北区、代表取締役兼CEO 社長執行役員：仲井 嘉浩、以下積水ハウス）が、積水ハウスグループ全体での施工管理業務の標準化を通じた業務の効率化及び生産性向上を目的に「ANDPAD」の導入を決定したことをお知らせいたします。
また、本件に関連し積水ハウスグループ全体での「ANDPAD」の活用に向けて、基幹システムとのデータ連携や現場での運用設計・推進を目的とした業務委託契約を締結しました。

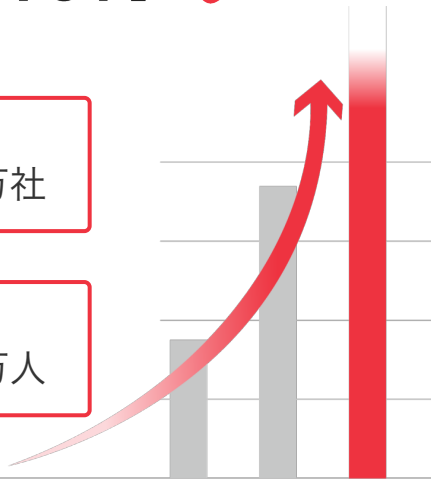
© 2024 ANDPAD All Rights Reserved.
Confidential

ANDPAD が支える建設DX

導入企業数
7年連続
シェア
No.1※

利用社数
23.3万社

ユーザー数
68.4万人



※『建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア（ミックITリポート2024年12月号）』（デロイト トーマツ ミック経済研究所調べ）

Mission

幸せを築く人を、幸せに。

住まいをつくる。ビルや施設をつくる。街をつくる。
生活を豊かにする建築・建設業は、幸せづくりと例えられます。
私たちは、その幸せづくりをする人たちをテクノロジーの力で
後押ししていきたい。心からそう考えてます。

我々はこれからもお客様の声をサービスに反映して、
建設業界及び建設業従事者様の業務効率化、
DX化を支援してまいります。

© 2025 ANDPAD All Rights Reserved.

05

OSS 開発を仕事とすること

まとめ

キャリアのまとめ

専門性

特定領域の「守り人」として、モチベーションによらないでも結果が出るようにしている。所属企業にとっての価値は自分でなんとかする。

コミュニティ

開発者会議や合宿を通じて、仲間と繋がり、新たな仲間を増やす活動を行う。セキュリティ対応や安定版のリリースなどを対応し続ける。

エコシステム

アンドパッドやRuby Associationなどの「応援団」に支えられ、活動を継続する。複数の組織の互いの利害を調整しながら Ruby の発展に繋げる。